

☉ 議会だより やまもと

Vol. 181

平成30年11月1日発行
宮城県山元町議会



小学校音楽会
(山二小)

第3回定例会

会期 8月31日
～9月19日

■第3回定例会	P2
討論	P5
審議結果	P7
総括質疑	P8
決算審査特別委員会	P10
一般質問	P12
■委員会報告	P20

深山山麓少年の森(測量・地質調査)等を賛成多数で可決



補正予算概要

今回の補正予算は、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の6件を審議しました。

平成30年第3回議会定例会は、8月31日から9月19日までの20日間の日程で開催され、補正予算や人事案件など29件を審議しました。一般会計補正予算では、反対討論が行なわれましたが、賛成多数で原案可決、その他の議案も原案のとおり可決、同意しました。また、平成29年度の一般会計、各種特別会計の決算では、2人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会に付託し、6日間にわたり審議し、意見を付けてすべての会計を認定しました。一般質問では町政全般にわたり、8人の議員が町長の考えをただしました。

町長公約の主な予算

○ファミリー・サポート・センター事業	245万円
○レクリエーション施設整備事業業務委託料 (パークゴルフ場事業可能性調査)	283万円
○町民綱引き大会	41万円
○深山山麓少年の森測量調査業務委託料	1,686万円
○高瀬片平山線補修工事請負費	5,475万円
○一の沢河川護岸工事請負費	2,000万円



子育て支援の充実

その他の主な予算

○がん患者の医療用ウィッグ購入助成金	120万円
○骨髄バンクドナー助成金	140万円
○旧中浜小学校震災遺構モニュメント設計業務委託料	248万円
○新庁舎設備等備品購入費	6,000万円
○東部地区土地利用整序化工事請負費	6億2,100万円
○消防広域化協議会事務負担金 (P6参照)	2,936万円



整序化が進む東部地区

平成30年度一般会計補正予算

＝パークゴルフ場事業可能性調査費、

町長公約を含んだ12億5千万円

補正予算の主な質疑

○レクリエーション施設整備事業業務委託料
(パークゴルフ場事業可能性調査)

議員 なぜ9月の補正か。

課長 整理に一定の時間を要した。また、今回の調査は、来年の当初予算に計上すべきかどうかの位置づけとしている。

議員 隣接市町村の調査は自前でできると思うが。

課長 今回は採算性調査と市場調査をあわせて10項目、そのほかに自前調査を想定している。自前調査は、要望書内容の分析や近隣自治体の取り組みなどである。

議員 町にとって大事なもののなのに、なぜ説明資料がないのか。

課長 8月下旬の全員協議会で、資料により大きな方向性を説明している。

議員 パークゴルフ場は、そんなに緊急を要

する事業なのか。

町長 今後、この事業が前に進むことになっても設計、造成と完成までに時間を要する。町のにぎわいや活力をプラスし、交流人口の確保のためにも可能性

があるならば前に進める事業と判断した。

議員 保育所建設が棚上げの状態で、それよりも優先させる判断ということか。

町長 可能性があるかどうかという段階なので、必ずしもほかの事業との優先順位ということにはならない。

議員 2年前に否決されてから、この間、どういう機関でどのように総括、分析、検討したのか。

課長 機関の中で審議するのでなく、町長の公約が前提にあり、それを具現化するため

に主管課で予算を組み、教育委員会に説明した上で上程した。

議員 2年間十分な分析をしていけば、可能性調査を外に頼む必要はないと受け止めている。次年度の当初で十分間に合う。

交流人口10万人の内訳が示されないうちに、この補正ができたのは。

町長 100万人の交流人口を確保する上でも、確認をする必要がある。

議員 283万の予算の半分目でやる方向を検討すべき。

教育長 やれるところは、予算を抑える方向で進めたい。

議員 今回はあくまでも可否について判断するための調査か。

町長 事業の可能性を探る業務委託調査だと理解していただきたい。

○町民綱引き大会

議員 財源は、ふるさと振興基金だが、適切なのか。

課長 基金条例に基づいて運用する。今回の事業は、町づくりや地域づくりの推進に関する事業と位置づけている。

議員 参加者の保険料は、施設保険が、適用できるのでは。

課長 施設保険は、一般に傷害保険で広く対応するが、けがをした方に補償できる保険をかける。

議員 事業全体の内容は。

課長 震災等により、希薄化が懸念される住民同士のつながりを一本の綱で結びあわせるという目的である。企業と行政区をあわせ22チームを計画している。

議員 ふるさと振興基金はこれから申請するのか。
課長 推進委員会の決

定を踏まえ、財源充当する。

○深山山麓少年の森 測量調査業務委託料

議員 内容については。

課長 測量調査と地質調査に分かれる。地質調査では、ボーリング調査を2ヶ所程度予定している。

議員 なぜ、この時期の予算措置になったのか。

課長 町長の公約であり、本来であれば6月補正だが、事務整理に時間を要したことによる。



予算の考え方

○予算とは

予算は、直接、住民の生活を左右し、その福祉のいかんを決するものであるから、編成にあたっては、住民全体の福祉を念頭に置いて考えるべきで、いやしくも一部の住民の利益のために奉仕するようなことがあってはならない。

議会の予算審議にあたっては、一つの施策だけに重点を置くような見方ではなく、広く客観的に、住民全体の立場に立った公平なものでなくてはならない。

○補正予算とは

補正予算は、当初予算編成時に予期できなかった制度改正や事情変更によるものであり、特別の事情のある場合を除いて、みだりに行うべきではない。したがって、地方交付税が当初予算後になって決定されることや、国庫補助金や起債などの依存財源が年度途中で確実な見通しが立つことから、建設事業関係予算、給与改定予算、そして法令改正等特別の事情のあるものに限って、補正されるべきものである。

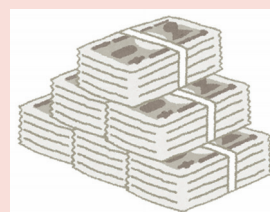
- (1) 天災、災害発生により必要となったもの。
- (2) 建設事業の設計変更等によるやむを得ないもの。
- (3) 物価変動等、経済事情の変化によるもの。
- (4) 当初予算の積算を誤っていたため、それを是正するためのもの。

等が挙げられる。

また、補正予算の留意事項は、みだりに補正を重ねることにより年間予算の意義がなくなり、財政運営の一貫性が失われることになることから必要最小限に止めるべきであり、公約予算は、選挙直後の6月議会または次年度の当初予算に提出すべきである。

補正予算では、次の点について十分留意すべきである。

- ①当初予算の性格が崩れることはないか。
- ②今後の財政にどのような影響を及ぼすことになるのか。
- ③財政事情が悪化することにはならないか。
- ④既存の計画がどう変更されようとしているのか。
- ⑤それが真にやむを得ないものであるか。



※「議員必携」より引用

平成30年度 各種会計補正予算一覧表

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額 (9月)	合 計 額
一 般 会 計	1, 257, 406	12, 582, 889
国民健康保険事業特別会計	33, 916	1, 929, 092
後期高齢者医療特別会計	1, 360	170, 828
介護保険事業特別会計	24, 261	1, 466, 873
水道事業会計	-76	586, 331
下水道事業会計	-89, 909	1, 091, 032

反対

議会が疑われる議員は理解しているのか

青田和夫議員

補正予算とは、急を要する案件等であり、政策予算は当初予算で要求するものである。少年の森は、具体的な将来計画の説明もない中、理解できるものではない。パークゴルフ場は、財源が見込めない。整備費用や維持管理費を、子供や孫たちに負担させるべきではない。この件は、2年前の議会で否決した経緯がある。その時と議員のメンバーが変わらない中で認めれば、我々議会が疑われる。このことから原案に反対する。

賛成

調査をしてから判断すべき

竹内和彦議員

我が町の人口規模で、身の丈に合ったパークゴルフとはどういうものになるのか。予算はどれくらい要するのか。設置場所はどこか。ランニングコストは、どうなのか。交流人口と経済効果はどうなるのか。これらの疑問は、調査をしてみなければわからない。慎重な審議をするうえで、専門的な調査は必要。そのうえで総合的な判断をすべきでは。以上のことから、今回、調査費が計上されている補正予算案については、賛成する。

反対

優先順位を考慮すべき

岩佐孝子議員

補正予算とは、天災、災害発生による緊急性を要したものである。公約予算は、選挙直後の6月議会、または次年度当初予算で提出すべきである。みだりに補正を重ねると財政運営の一貫性が失われることになりかねない。補正予算の財源は、国・県からの補助金等もなく、一般会計や過疎債だけでは町民の負担になる。また、町は震災復興途上にあり被災者支援事業等の課題が山積している。優先順位を考へるべきであり、反対する。

反対

議員は責任を持つた行動・行為を

遠藤龍之議員

パークゴルフ場の件について、否決後2年間ある中で十分な調査分析をしていけば、お金をかけてまで調査する必要はなく、自前での調査が可能であること。重要な政策提案を補正での対応としたことに問題があること、地方公共団体の予算は、通年予算としての編成が原則、補正での対応は限られており、その対象とはならないこと。議員は、議員必携を参考にしていと思われが、責任を持った行動、行為を求め、反対討論とする。

(※討論の発言順に掲載)

氏名	岩佐哲也	渡邊千恵美	竹内和彦	岩佐孝子	伊藤貞悦	岩佐秀一	菊地康彦	大和晴美	遠藤龍之	高橋建夫	橋元伸一	青田和夫	阿部均
採決結果	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●	-

○ 賛成
● 反対
- 議長



巨理地区行政事務組合規約の変更 (議案40号)



○提案理由

平成31年4月1日から岩沼消防本部及び巨理地区行政事務組合消防本部の消防広域化を開始するにあたり、巨理地区行政事務組合に岩沼市が加入し、同組

合規約を変更することについて協議をするため。

○変更内容

- (1) 「組合を構成する町」を「組合を構成する市町」に変更し、「岩沼市」を加える。
- (2) 組合議会の議員数「8人」を「12人」に。
- (3) 関係市町が務める「管理者1人、副管理者1人」を「管理者1人、副管理者2人」に。
- (4) 消防に係る分担金を「共通経費」「臨時経費」「特別経費」に分け、それぞれの負担経費について定める。



契約 (議案49・50・51・52号)

契約名称	金額(税込み)	契約相手	工期
頭無西牛橋線橋梁撤去工事	1億1,664万円	株式会社太田工務店 (巨理町)	平成31年 3月22日まで
高瀬笠野線道路改良工事	1億7,064万円	株式会社太田工務店 (巨理町)	平成31年 3月15日まで
山下浅生原線道路改良工事	4,352万4千円	中鉢建設株式会社 東北支店 (大郷町)	平成31年 2月28日まで
水産関係用地等造成工事 (磯浜駐車場整備)	1億1,340万円	株式会社太田工務店 (巨理町)	平成31年 3月26日まで

※入札方法：上記全て条件付一般競争入札

主な質疑

高瀬笠野線道路改良工事

議員 工事のランクと評価点は。

課長 今回の条件付一般競争入札は、宮城県の等級Sで、総合評価は95点以上となっている。

議員 入札に3社の応募で、そのうち2社が辞退しているのはなぜか。

課長 6号線の交差点近くで、施工中の交通誘導等の経費と工事の難易度が高いと判断したのだと思う。

議員 規模を大きくしたからではないのか。

課長 例えば3社に分割すると、3社が各々交通誘導をしながら、重機で同時に施工することになるため、車両を通しながらの施工は難しくなる。



高瀬笠野線道路改良工事

人事

◇教育委員会委員◇

齋藤 房江氏(横山区)を再任

任期は平成30年10月1日から4年間です。

○平成30年第3回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第 9号	平成29年度決算山元町健全化比率について【実質公債費比率12.1%】	報告
報告第10号	平成29年度決算山元町公営企業資金不足比率について【資金に不足は生じない】	
報告第11号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)【東街道線舗装工事減額】	
報告第12号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)【東街道線舗装工事増額】	
報告第13号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)【大平牛橋線外舗装工事増額】	
報告第14号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)【高瀬中央線外舗装工事増額】	
報告第15号	専決処分報告について(工事請負契約金額の変更)【真庭線外舗装工事減額】	
承認第 5号	専決処分の承認を求めることについて(訴えの提起について) 【犬塚遺跡業務委託契約締結意思表示等請求事件】	承認
認定第 1号	平成29年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 2号	平成29年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 3号	平成29年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 4号	平成29年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 5号	平成29年度山元町水道事業会計決算認定について	
認定第 6号	平成29年度山元町下水道事業会計決算認定について	
議案第39号	山元町町税条例の一部を改正する条例【固定資産税の軽減】	可決 (全員賛成)
議案第40号	亶理地区行政事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び亶理地区行政事務組合規約変更について【消防広域化により、亶理地区行政事務組合に岩沼市が加入】	
議案第41号	町道の路線廃止について【町営桜田住宅内の15路線】	
議案第42号	町道の路線認定について【町営桜田住宅内等6路線】	
議案第43号	平成30年度山元町一般会計補正予算(第2号)	可決 (賛成7反対5) P5参照
議案第44号	平成30年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員賛成)
議案第45号	平成30年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第46号	平成30年度山元町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第47号	平成30年度山元町水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第48号	平成30年度山元町下水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第49号	平成29年度 社総交(復興)請1号 頭無牛橋線橋梁撤去工事請負契約の締結について	
議案第50号	平成29年度 社総交(復興)請3号 高瀬笠野線道路改良工事請負契約の締結について	
議案第51号	平成30年度 社総交(防安)請2号 山下浅生原線道路改良工事請負契約の締結について	
議案第52号	平成30年度 漁集1号 水産関係用地等造成工事請負契約の締結について	
同意第 1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて【齋藤房江氏 再任】	同意 (全員賛成)

○陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第 7号	山元町パークゴルフ場の造成設置に関する要望書について	山元町健康と仲間とまちづくり 実行委員会 会長 青田 義久	配布のみ
陳情第 8号	平成31年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布のみ

岩佐 孝子議員

保育所は早期着工すべきである

〔町長〕引き続き検討していく

議員 基本調査計画及び基本設計業務委託料264万円の繰越明許、期間延長事由と対応は適切だったか。

課長 起工の準備、業者選定等で事業着手まで時間を要した。11月のワークショップで、問題提起され、アンケートを実施したためである。

議員 アンケート回収率約40%、ワークショップ10数名での判断材料で良かったのか。

町長 足らざる部分は、いろんな場面で見況を把握し進めてきた。

議員 アンケートの趣旨説明に、負担増となるような表現は

不適切ではなかったのか。

町長 担当課が常任委員会等で、説明している。

議員 28年度基本設計で候補地4カ所を提示したが、なぜアンケートなのか。

課長 どこが一番適しているかという調査を踏まえ発注した。

町長 当初は課長答弁の内容であったが、様々な角度から進めてきたものである。

議員 時間とお金を無駄にしているのではないのか。

町長 引き続き検討していく。

遠藤 龍之議員

多様なニーズ対応と建設は別問題

〔町長〕いろいろな受けとめ方がある

議員 子育て支援・定住促進対策の重要な施策の一つとして取り上げられ、まだ進展が見られない坂元地区の保育所建設の取り組みは十分であったか。

町長 ライフステージに沿って切れ目のない各種支援策を講じ、積極的に取り組んできた。

議員 坂元地区に保育所を建設するのか、しないのか。

町長 当面は多様なニーズに対応すべきと判断し、そちらを優先する。

議員 「建設は今のところ考えていない」というのが、町長の結論のようである。

その理由に多様な保育ニーズを優先ということだが、もう既に昔から取り組まれていなければならぬ事業であり、坂元に保育所を建設することは全く別の問題である。

町長 いろいろな受けとめ方はあるが、緊急、優先度を勘案しての判断である。

議員 緊急性、優先度については、保育所建設の方が強い。「本当に困ったものだ。」ということ伝えておく。

決算審査意見書(抜粋) (審査期間: 7月10日~8月7日)

審査に付された平成29年度一般会計、各特別・事業会計は、いずれも有効かつ適正であると認められた。

＝意見＝

1 予算の流用と予備費の充用

予算執行上必要がある場合は財務規則に基づき、町長の承認を得れば可能となっているが、必要最小限度にとどめていただきたい。

2 補助金交付と団体育成

補助金等交付規則に基づき、補助金が交付されるが、補助金交付検討員会を再構し、補助金が適正であるか見極めていただきたい。また主管課においても目的や効果等の検証を行い、自主運営に取り組むよう指導していただきたい。

3 各施設の使用料等

受益者負担の在り方、公益性や公平性の確保、新たな財源の確保等、総合的な見地から引き続き検討していただきたい。

4 切手や印紙等の取り扱いと公印の管理

不正につながりかねないものであるため、特に厳正な管理を行っていただきたい。

監査委員 淀川 昭・岩佐 哲也

平成29年度 目で見える決算

一般会計 総額 183億9,169万円

決算の主なもの

総務費



58億5,712万円

・人件費、防災行政無線、定住促進対策費 ほか

民生費



18億649万円

・社会福祉、被災者支援、保育所費 ほか

農林水産業費



25億9,532万円

・農業振興、農業・水産業復興推進費 ほか

土木費



52億3,497万円

・道路橋梁・復興推進、都市計画費 ほか

消防費



2億7,979万円

・非常備消防、岩沼・亘理消防本部広地化協議会負担金 ほか

教育費



9億2,501万円

・幼稚園、小学校、中学校費 ほか

災害復旧費



2億902万円

・公共土木施設災害復旧費 ほか

平成29年度 各種会計決算一覧表

会計名		決算額	
一般会計		183億9,169万円	
国民健康保険事業特別会計		20億1,256万円	
後期高齢者医療特別会計		1億5,695万円	
介護保険事業特別会計		12億8,667万円	
企業会計	水道事業会計	収益的支出	3億9,844万円
		資本的支出	2億6,374万円
	下水道事業会計	収益的支出	4億7,866万円
		資本的支出	4億9,631万円

平成29年度決算 成果は？ 効果は？

主な質疑

○消防施設

議員 不備が多く見られるが、予算措置し整備する考えは。

町長 3・11の災害を経験した中で、処遇改善、防災無線、消防車両の計画、定期的な更新等々、これまで以上に取り組んでいる。

議員 消防の看板は、未だ対応されていないが。

町長 消火栓、防火水槽の表示も、維持管理と合わせ計画的に対応する。



決算審査特別委員会の様子

○公共交通

議員 駅ホームの待合所設置、通勤通学時間帯の利便性、新幹線乗り継ぎ、強風等による運休代行バス運行等交通弱者への対応は。

町長 実地調査をお願いし、JRに相談している。引き続きの検討課題である。

議員 JRへの延伸要望の件で、常磐線北部整備促進期成同盟会に3万円の負担をしているが、要望活動したか。

町長 年度末にかけての日程調整がまとまらなかった状況である。

○山下駅前駐車場

議員 280万円の黒字実績が出ています。月極駐車場をやるべきと思うが。

町長 プリペイドカードはスタートしてまだ

日も浅い。不便な声もないので状況を見ながら模索が必要である。



山下駅前駐車場

○工事請負

議員 各工事請負の遅れが目立つが、マンパワーが不足する中で発生した台風が要因か。

町長 確かに台風21号の影響もあり、災害復旧が重なり全体の工事に支障が出た。

議員 工事請負の遅れの解消、今後の方向性を固める必要があると思うが。

町長 地元業者の方々と膝を交えて意見交換を予定している。

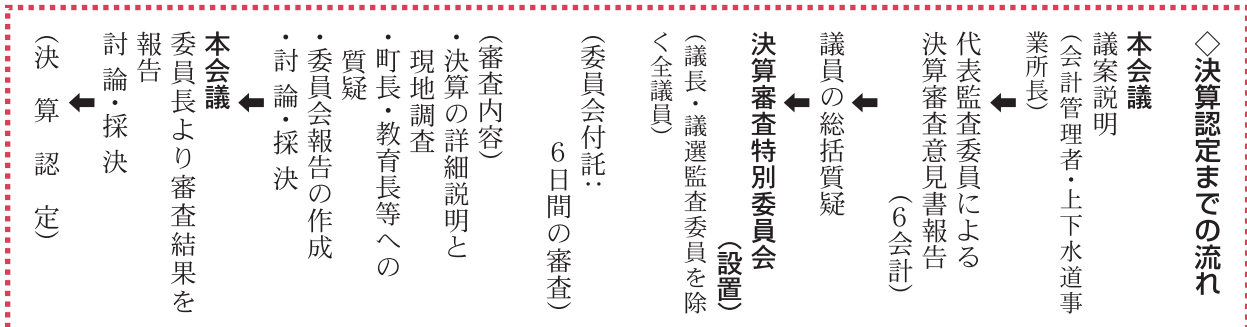
○新浜諏訪原線

議員 28年から2年も繰り越している。1年前に、「議会へ責任ある説明をしながら進めるべき」と指摘しているが、関係機関協議及び地権者との交渉に時間を要しているなど同じ状況から抜け出していない要因は。

町長 前年度に指摘されていたが、台風21号による被害が甚大であったためである。

議員 台風は10月末頃だった。28年度からの繰越事業なので6月頃には終了しているとも考えられる。この計画は、到底無理な事業だったのではないか。今後の取り組みについては。

町長 今抱えている全体の工事業業量がある。引き続き、努力をしていく。



○補助金

議員 戸花山桜の会に55万円支出したが、適正か。私有地の駐車場整備に問題はなかったか。

町長 桜を中心とした植樹・植栽をし、時期になれば一定の人が来られる状況が想定され、町として一定の関与をしていく必要がある。

議員 監査委員が指摘している補助金交付検討委員会の再構とは。

監査委員 補助金が目的に合致しているか、目的終了の確認、支給金額などの見直しの段階である。が、団体等への町の交付委員会が機能していない状態のため組織を再構築し取り組むべきということである。

○基金

議員 ふるさと振興推進委員会委員長に町長が就いているのは問題ではないのか。

町長 懸念が少しでも少ない運営に心がけていきたい。

○監査委員意見書

議員 意見書中、「予算の流用と予備費の充用について、予算執行上必要がある場合は、必要最小限にとどめていただきたい」とあるが、どのような意味か。(P8参照)

監査委員 町には、財務規則があり、規則には従っているものの、予算の流用件数が多かった。このような場合補正予算を組み、議会の承認を得て行うべきではないか。ということである。

○国保・介護保険

議員 国保税について、今回の調査で順調な形で基金が伸びている。基金を有効活用し、引き下げ等々、町長の考えはないか。

町長 国からの特別調整交付金が非常に不安定な状況で毎年繰り返される面があるが、被保険者に過度な負担が生じないように、基金をうまく活用し保険税の抑制にしっかりと意を用いていく。

議員 介護保険料も、実態を深く掘んで引き下げ、具体的取り組みをすべきでは。

町長 適正な運営につながるような取り組みをしていく。

○教育環境

議員 図書購入費は非常に少ない。読書力、学力向上からも考慮すべきでは。

教育長 計画的に補充していきたい。

議員 蔵書数として充足していると言うが、古書も含まれており、読みたくなる環境づくりをすべきでは。

教育長 司書補を配置しており、教員と連携していきたい。



決算審査特別委員会 委員長報告
意見を付け「認定すべきもの」

平成29年度各種会計決算(6会計)は、9月6日に決算審査特別委員会(伊藤貞悦委員長)を設置し、6日間にわたる審査を行いました。

また、19日の本会議で下記意見を付け認定しました。

記

1. 保育所再建の取り組みに進展がみられない。これまでの議会の意思を十分に踏まえ、1日も早く事業に着手すべきである。
2. 補助金の執行に当たっては、補助金交付検討委員会等で精査し、予算執行すべきである。
3. 一般会計各種基金の活用は、これまでの経緯経過を十分に勘案し、各種事業の執行における連携をとり、事業を精査し効果的に財政運営をすべきである。
4. 山下駅前駐車場は、町民が利用しやすいよう「月極料金」設定もすべきである。
5. 特別会計(国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計)は増額傾向にある各種基金の有効活用を図り、住民の負担軽減につながる料金改定をすべきである。

段ボールメーカーとの防災協定を

町長 県としての包括的締結を働きかける



議員 大和 晴美

議員 段ボールベッドの認識は。
町長 このたびの西日本豪雨の被災地においても活用されており、避難所生活を余儀なくされた際に、少しでも良好な環境を確保し、エコノミークラス症候群などの二次的な健康被害の軽減を図る取り組みとして有効である。
議員 段ボールメーカーとの防災協定をどうするか。
町長 大規模災害などが発生した際、円滑に調達し、活用できるように、民間事業者など

との協定は必要である。今後、他自治体の先行事例を参考に、単独での締結について検討を進めるとともに、県としての包括的な締結についても働きかけたい。

議員 防災訓練で段ボールベッドを活用しては。

町長 避難所開設時に円滑に活用するためには、その組み立て方や使用方法などを町民にあらかじめ理解していただくことが大切である。総合防災訓練などの機会を捉え、段ボールベッドの組み立て訓練の実施を検討する。

その他の質問

児童虐待対策は

- ① 今後の取り組みは
- ② 子育て世代包括支援センターの役割は

危険ブロック塀除去等の助成制度を

町長 今後、支援の必要性を検討する

議員 通学路にあるブロック塀の安全点検の結果は。

町長 昭和53年と平成14年に調査を実施した。14年の調査で危険性が高いと認められるブロック塀等が町内に10カ所特定された。16年度から18年度までの時限を設け、費用助成を行い、現在は全て改善された。

教育長 6月18日に発生した大阪府北部地震でのブロック塀倒壊事故を受け、県教育委員会から安全点検の実施について通知があった。各学校の教職員が学校敷地内のブロック塀などの確認及び通学路等における点検を実施した結果、危険を及ぼすおそれのあるブロック塀等は確認されなかった。

議員 今後、安全対策をどのように実施するのか。

町長 今年度末までに県と町が合同で、専門的な知見から危険ブロック塀等の実態調査を行う。

議員 現在、安全性に問題のあるブロック塀がなかったとしても、スクールゾーン内危険ブロック塀除去等の助成制度を作るべきではないか。

町長 県との合同の調査結果も踏まえ、支援の必要性について検討する。



「通学路の安全・安心を！」

自然災害から町民を守る町の姿勢を

町長 町民の安全・安心を守る対策を行う

議員 自然災害時の避難路の把握は。

町長 総合防災訓練への機会を捉え、安全な経路の確認がなされていると認識している。

議員 自分の身は自分で守ることは基本であるが、避難路は町で把握して周知すべきでは。

町長 避難路には大雨時に危険な箇所が多いので、早めの避難勧告・指示等を心掛けていきたいと考える。

議員 十分か。

町長 避難者の3日間の生活に必要な備蓄をしている。今後、高齢者や乳幼児、食物アレルギーなどにも対応できるように計画的に更新を行いたい。

議員 総合防災訓練の見直しの必要は。

町長 災害が多様化していることから、町民の安全・安心を守るため実践に即した訓練内容に調整したい。

議員 気象災害は予測

し防ぐことができる。そのため、避難には町の準備や、情報が必要不可欠である。町民が安心して住むことができるさらなる対策を期待する。



きくち やすひこ 議員 菊地 康彦



「私たちには大きな夢があります！」

子どもたちに夢の持てる教育を

町長 夢の実現に向かい頑張れる子どもに

議員 我が町の小・中学生の学力はどの様な状況か。

教育長 4月に行われた小学6年生、中学3年生対象の全国学力・学習状況調査では、各教科で全国平均、県平均を下回る結果となった。

議員 学力向上のため、どのような対策が必要か。

教育長 近年の状況が芳しくないことから、学力向上に向けた町独自の対策が急務であると改めて認識している。

議員 先進事例の視察や、テスト結果の分析が活かされていないのでは。

教育長 結果を見れば、そのように言えるが、常にある程度の学力が維持できる状態をつくり、また、継続して子供たちの実態を把握し、毎年町内の子供たちが同じように学力が身に

つくよう取り組んでいきたい。

議員 町の将来を担う子供たちをどのように育成するのか。

教育長 被災した町だからこそ、夢や志を持ち、その実現に向け、頑張っていけるように育てたいと考える。

議員 人にとって社会で生きるために勉強は大切である。だからこそ我が町の小中学生に確かな学力を身につけさせ、将来の目標を持たせ、故郷や地域のために貢献する人間を育成する必要がある。人としていかに生きるか、子どもたちに教えるのは決して早いとは思わない。また、学力向上が、人口増や定住人口増にもつながると確信する。

坂元地区への思い切った定住策を

町長 今後検討に値する



議員 竹内 和彦

議員 これまで定住促進事業を推進してきたが、この事業により山下地区、坂元地区への転入世帯数はそれぞれ何世帯か。

課長 27年度に制度を拡充してからの3年間に110世帯が転入した。山下地区104世帯、坂元地区6世帯である。

議員 坂元地区の転入が6世帯とは余りにも極端すぎるのでは。これこそ政策のアンバランスではないのか。この状態が続けば、少子化がさらに進み、坂元中学校統合の次は坂元小学校の統合問題に発

展していくのでは。この定住促進事業による坂元地区への転入が何故6世帯だったのか。

課長 山下地区には、民間で造成した宅地があり、購入してすぐに家を建てる事ができる。一方、坂元地区は、すぐに建てられる分譲地がないということが背景にある。

議員 坂元地区には、眠ったままの町有地が多くある、これを宅地分譲することが、定住促進の第一歩ではないのか。さらには若者定住用に住宅を建て、一定期間住んだらこの若者に無償譲渡、又は格安で譲渡する等の思い切った施策は考えられないか。

町長 町有地の有効活用、定住施策の促進という事で、今後、検討に値する。

ひとり親世帯の移住受け入れを

町長 自然体で対応していく

議員 全国120万人のひとり親世帯を対象に、我が町に移住・定住を推進してはどうか。今、都心に住むひとり親世帯は、保育所に入れない、家賃が高い、物価が高い、通勤ラッシュがきつい、近所にどんな人が住んでいるか分

からないので子どもが心配。これらの諸問題は、地方移住によりほとんどが解決できる。我が町は、都市部に住むひとり親世帯に手を差し伸べ、応援してはどうか。

町長 大都会からの受け皿として、町が今置



「新市街地」

かれた状況を考えると、良い意味でのバランスのとれた移住・定住をしていかないと町としては大変な部分もある。

議員 我が町には、ひとり親世帯の移住促進は必要ないという声もある。しかし、今の我が町は少子高齢化、人口減少、学校の統廃合、過疎指定、将来の町の存続すら危うい状況にある。このひとり親世帯の移住・定住が継続的に実現するならば、我が町の人口減少、少子化に歯止めがかかることは間違いないと思うが。

課長 町としては決して拒むものではないが、あくまで自然体で対応していきたい。



たかはし たてお 議員
高橋 建夫 議員

10年先を見据えた町政かじ取りは

町長 4モデルの複合と広域連携で進める

議員 総合計画の策定は当然であり、一例にせよ、日本創生会・人口問題検討委員会が公表した地域が活きる6モデル（産業誘致・ベツトタウン・学園都市・コンパクトシティ・公共財団主導・産業開発）の、どの型の考えか。

町長 コンパクトシティ、産業誘致、産業開発、ベツトタウンの4つの複合的な型で取り組んでいる。

議員 4モデルの複合化と町政3本柱は、町外への人口流出の歯止めや町外からの人口流入策でもあり、産業開発が鍵を握ると思うが。

町長 お話しのとおり。議員 巨理町との合併は視野にあるのか。

町長 当初の公約で「巨理市」の早期実現を目指した。今は、復旧復興に尽力すべく巨理町も同様である。

議員 国は中核都市を

中心に複数自治体で構成する圏域単位のまちづくりを法制化する動きがあり、全国で28圏域が存在しているが。

町長 今後の行政のあり方として有用な一策と考えるが、国や他の自治体を注視し、広域連携が必要である。

議員 現在、広域連携として、衛生処理、消防等あるがもつと広げる題材は。

町長 火葬場、給食センター、インバウンド対策等である。

議員 福祉関連で、介護施設も視野に入れるべきである。

北部自然環境活かした町の活性化を

町長 主旨に添い順次検討している

議員 山元インター周辺は、都市計画で産業用地の確保とあり、震災後、数社の企業誘致があるが、さらなる誘致は。

町長 この周辺は、道路面との高低差やそのため造成費用などの課題はあるが、交通の利便性に恵まれた環境を活かすよう検討している。

議員 土取り場は、四方山手前を含め、町内に37カ所ある。31年度で作業終了だが、跡地の利活用の考えは。

町長 37カ所を視野に検討している。沿岸部の3カ所で約30haの産業地ゾーンの有効利用をまず優先したい。

議員 四方山の対空レーダー撤去跡地を駐車場等に整備し、観光・交流人口拡大の考えは。

町長 国の施設だが町のエリアにあり、国の動きを見、観光開発



「四方山対空レーダー撤去跡地」

協会の角田市、巨理町の協力を得て進めたい。

議員 民間活力で温泉・宿泊施設、食事処の考えは。

町長 これまで温泉、スーパ―銭湯の話を頂戴したが自然消滅した。対応できるよう努力したい。

美化活動の仕組みづくりを

町長 仕組みづくり・環境美化に努める



わたなべ ちえみ 議員
渡邊千恵美 議員

議員 駅前周辺の環境美化は、住民と行政が一体となり美化活動を推進してはどうか。

町長 行政区、公園管理会、地域団体等と連携を密に図り努めていく。

議員 我が町の顔となる駅前周辺に雑草が目立つが、定期的な対応に問題はなかったか。

室長 猛暑ということもあり、草が繁茂している状態となり、今後シルバー人材センターと作業時間について適正な管理を行なっていく。

議員 町内会と町の機

「猛暑にも負けずに」



能分担し、美化活動の仕組みづくりが大事だと思うが。

町長 機能分担し、協働の仕組みづくり、環境美化に努める。

ICT整備を導入する気はないか 町長 必要な時期に予算措置を行う

議員 我が町の学力をどう捉えているか。

教育長 全国・県平均を下回ることが多く、学力向上に向けた対策が急務である。

議員 町独自の3つの約束（規則正しい生活の確立・家庭学習の充実・ゲーム、スマホなどの使い方）は、どう活かされているか。

教育長 アンケートを実施し、一定の成果が出たが、望ましい習慣が身についていない。今後、生活・学習習慣形成の充実を図る。

議員 ゲーム、スマホなど、ネット依存対策の遅れが深刻であるとマスコミに取り上げられているが、我が町の対策は。

教育長 正しい使い方

の講演会の実施や家庭との連携が非常に重要であり、繰り返し今後でも取り組んでいく。

議員 ノーテレビ、ノーゲームの日を打ち出し、その日を図書デー、家庭の日に変える取り組みをしてはどうか。

教育長 家庭との連携が大事な部分であるため、今後検討していく。

議員 文科省では新学習指導要領の実施を見据え、教育のICT化に向けた環境整備5か年計画、地方財政措置が講じられたが、取り組む考えはないか。

教育長 学校におけるICT環境整備は進んでいない状況にあり、今後学校との調整を図りながらICT環境整備を進めていく。

その他の質問

次世代につなぐ
子供たちの育成は
①総合窓口が必要では
②子育てハンドブック
が必要では

※ICTとは
情報通信技術のこと

人口減少をくい止める対策を

町長 みんなが住みたくなる町づくり

議員 出生率増加を図る対策は。

町長 産み育てやすい環境づくりである。

議員 核家族が増加しており、第二子出生以降の場合、第一子を退所せず、保育所に対応すべきでは。

町長 柔軟な対応ができるよう検討し進めている状況である。

議員 国では、31年10月からの無償化を検討している。町の考えは。

町長 推移を見極めた判断が必要である。

議員 定住促進事業の効果、成果については。

町長 住み良さは、それぞれの尺度に合わせて選んでいる。

議員 昨年度の人口は増加であり、山下地区104世帯272人（つばめの杜28世帯）坂元地区6世帯23人である。パランスのとれた定住促進を図るべきである。

町長 旧山下駅を中心

に民間で適地を見つけ開発してきた。坂元にある既存の町有地を活用する検討の余地はある。

議員 定住促進・婚活等の施策を検証し、町独自の人口推計をして、小中学校再編を進めるべきである。



議員 高尾 孝子 岩佐



「未来を担う子どもたち」

町長の政治姿勢を問う

町長 新しい視点での町づくりに取り組む

議員 山側にある既存集落の位置づけは。

町長 都市計画マスタープランで、既存市街地ゾーン、営農ゾーンと位置づけてはいるが、個別具体の方向性、計画を持ってはいない。

議員 危険区域、3種区域の見直し時期は。

町長 津波シミュレーションを踏まえ、現段階では見直す状況ではない。

議員 副都心「坂元」での公共施設、保育所早期建設は。

町長 保育所問題は他議員とのやりとりで委ねる。

議員 町長の姿勢には……。

町長公約として掲げた計画は、6月以降に検証はしたのか。

町長 現段階では持ち合わせておらず、説明できる状況ではない。

議員 過疎からの脱却を図るために、事業計

画の整理や順番をどのようにするのか。

町長 交通インフラを活かした町づくりを積極的に進めていく考えである。

議員 「教育に予算をかけない国は滅する。」教育には金をかけるべきである。未来を担う世代に先行投資すべきではないか。

町長 次代を担う地域の宝、教育のため必要な努力、対応に取り組んでいく思いである。

議員 各行政区でも課題解決に向け悪戦苦闘しながらも生き残り、地域を守ろうとしている。私は、町長に「大丈夫だよ。」「みんなで頑張っぺ。」という強いリーダーの姿勢を求める。

震災復興計画の達成度と自己評価は

町長 それぞれの点について回答



もと しんいち 議員
橋元 伸一

議員 被災者支援の内容が、再建する場所によって差があるが、この点については。
町長 津波被害を受けた方のみならず、場所や程度に応じ、きめ細やかな支援を実施できていると考えている。さらなる追加支援は考えていない。
議員 危険区域の見直しと、可住区域（2・3種区域）の整備については。

議員 直しができるのか検討していく。可住区域の整備については、現在避難道路の整備を進めており、津波避難はもとより、新市街地拠点施設へのアクセス向上が図られると考えている。
議員 定住促進事業については。
町長 住宅取得奨励事業、民間賃貸住宅建設支援事業を柱とし展開してきたが、新婚、子育ての若年世代に特化した支援策効果が表れていると認識している。今後も、若者世代に魅力的な支援策を構築し、子育て世代の移住・定住を強力に進める。
議員 小・中学校統合後の各地区への影響について、どのように考えるか。

町長 津波シミュレーションの結果、現段階では見直しはできないと考えている。今後、他の判断材料による見直しができるのか検討していく。可住区域の整備については、現在避難道路の整備を進めており、津波避難はもとより、新市街地拠点施設へのアクセス向上が図られると考えている。
議員 定住促進事業については。
町長 住宅取得奨励事業、民間賃貸住宅建設支援事業を柱とし展開してきたが、新婚、子育ての若年世代に特化した支援策効果が表れていると認識している。今後も、若者世代に魅力的な支援策を構築し、子育て世代の移住・定住を強力に進める。
議員 小・中学校統合後の各地区への影響について、どのように考えるか。
町長 学校が閉校となる地域にとっては、大きな問題であるため、これまで同様に活力ある地域として維持できるように検討していく必要があると考えている。
議員 町の再生に伴う坂元地区の考え方について。保育所はどうするのか。
町長 ハード面での整備に特化せず、保育所と幼稚園の機能分担を行うなど、官民連携の強化策についても検討していく。
議員 坂元地区の位置づけをどのように考えているのか。
町長 坂元地区は、交通インフラの結節点である。歴史や文化、地域コミュニティにおける絆を大切にしている地域であると認識しており、本町の副都心としての発展に努めていく。
議員 もしも坂元地区に保育所、小学校、中学校、すべて無くなった場合、どのようにして若い世代を呼び込むのか。



「にぎわうダンス公演（坂中体育館）」

町長 恵まれた自然環境、交通インフラ、仙台圏への近接性を活かし移住・定住を掘り起こしていく必要がある。知恵を貸していただければ、一緒に取り組んでいきたいと思う。

議員 以前、町長は、坂元は「あなたの故郷ですよね」と聞かれ、「私の故郷は山元町です」と答えた。堂々と「私の故郷は坂元です」と言える人が育つことを期待する。

町民に積極的に意見を求めた取組を

町長 住民説明会等の意見も踏まえ検討を

議員 「小学校1学区区」、「中学校1学区区」とする検討委員会の学校再編のまとめに対し、町の考えも示し、その中で、町民にも積極的に意見を求め、取り組んでいく必要がある。と考えるが取り組みの現状は。

教育長 検討委員会のまとめを、この間の住民説明会等の意見も踏まえ、教育委員会としての方針を固めて学校再編を進めていく予定

である。

議員 学校再編は、町の一大事業である。この問題は町全体の問題であり、将来の町づくりに深く関わる問題でもある。正確な情報の提供、その中で町民との検討を重ね、町民の十分な理解の中で、不安、懸念をなくす取り組みが求められている。この間の住民説明会、パブリックコメントの取り組みの周知も十分で、結果も十分でな

く問題があったこと、今まであった保育所がなくなる地域もあるようだが、後々、後悔が残らないような取り組みを強く求めておく。



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員



「学校は地域の核」

工事請負の落札率 高すぎないか

町長 90%以上半分 95%以上88件中13件

議員 入札、契約執行に対する町の考え、対応は。

町長 透明性、競争性及び公共性の堅持等、公共土木に関する関係法令に基づき厳正に執行。地元企業の育成、振興を図るという点でも、分割発注等も含め可能な限り、町内業者への発注に努めてきた。また、町外業者に工事

発注の際、下請等、地元企業の積極的な活用に配慮するよう仕様書で定める等、引き続き受注機会の確保に努める。

議員 最近の事例で入札対象条件が高く、最初から地元企業がはじかれる事態が伝えられているが。

副町長 事例はあったが、それは工法、工事内容、技術的な点を勘案、判断させていた。いた。

議員 こうした傾向が

最近多くなっていると伝えられている中、検討の余地はなかったのか、疑問が解けないことを伝え、次に町の工事請負の落札率の実態は。

課長 29年度の落札率95%以上の件数は88件のうち13件、90%以上では42件と全体の半分程度、100%のものもある。

議員 この数値からみると、町の落札率は高すぎるのではないか。この点については、今後、議会での十分なチェックの中で綿密に確認していく必要があると考える。

その他の質問

公民館等公共施設の

取り組みは

- ① 利用状況について
- ② 管理、運営の現況は
- ③ 今後について

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

調査事項

◇環境問題

考察

空き地の雑草除去、廃屋対策は事が起きる前に指導強化し予防対策をすべきである。

太平洋ブリーディング株は現在、産業振興課が中心だが、環境対策は、町民生活課が主管課であるので、連携をとりながら事業を進めるべきである。臭気対策における、業者の絶対自信に疑問が残る。うしちゃんファームの建設場所は巨理町だが、直接の影響を受けるのは、山元町である。地域住民と連携し、意見を強く主張すべきである。

◇保育所再建

考察

取り組みの経緯、方針転換の時期、何故変わったのか、その理由と根拠を整理し文章化し説明すべきである。

保育所を作るか作らないのか、今後の方向性をはっきり示すべきである。

多様な保育サービス事業を充実させる姿勢は何えるが、同時に職員の負担が重く、今後の子育て支援行政に耐えられる組織体制か懸念される。



◇公共交通のあり方

考察

現在は震災前より予算の支出が増えている。従前のようなサービスの向上が出来るはずである。

土日の交通手段を検討し、利用者の多いバス停に屋根を設置すべきである。

継続調査

◇長期総合計画策定

◇障害者施策

産建教育常任委員会

調査事項

◇駅前駐車場

の管理運営

考察

昨年から何度となく、山下駅前駐車場の早急な月極料金を設定すべきと指摘してきたが、見直し作業が進んでいない。

料金の見直し時期については、9月議会での対応を求めているが、進展が見られず、住民サービスの観点からも、12月議会提案に向け取り組みべきである。

◇教育施設と公共施設の使用目的(利用目的)が異なるため住民の不利益にならないよう、利用しやすい運営を心掛けるべきである。

考察

再編検討委員会において、2つの中学校を「早期に1学区に再編」、4つの小学校を「将来的に1学区」として再編すべき。」との方向性が示された。

◇企業誘致の現状

考察

太平洋ブリーディング株は、新規の地元採用計画もあり、有望視される企業である。土地の取得など事業の進捗に積極的にバックアップしていくべきである。

◇中央公民館施設

の今後

考察

「将来的にはひだまりホールと一本化ではと考えている。」とのことだが、社会

臭気、汚水、排水、騒音(鳴き声)などの環境問題が予測される。今後これらについて十分注視していくべきである。



再編は、住民との十分な協議のもと、「学力向上」、「地域と学校のかかわり」など、幅広い視点から検討すべきである。

議員の会議等出欠状況

平成30年7月1日～9月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
				岩佐哲也	渡邊千恵美	竹内和彦	岩佐孝子	伊藤貞悦	岩佐秀一	菊地康彦	大和晴美	遠藤龍之	高橋建夫	橋元伸一	青田和夫	阿部均	
7	4	水	愛知県蒲郡市議会行政視察受入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
5	木	仙南・亶理地方町議会常任委員長研修会（～6日）	—	○	—	—	欠	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○
9	月	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
10	火	総務民生常任委員会	—	○	—	—	欠	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—
		産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—
11	水	全国町村議会広報クリニック	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—
12	木	議会運営委員会（視察）	—	—	—	—	欠	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
17	火	亶理地方町議会研修視察（～19日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
19	木	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
20	金	全員協議会	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	欠	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—
24	火	県町村議会議員講座	○	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—
25	水	県町村議会議員講座	—	○	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—
27	金	議会運営委員会（研修）	—	—	—	—	欠	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—
8	3	金	亶理名取市町議会連絡協議会（研修）	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	月	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—
7	火	総務民生常任委員会	—	○	—	—	欠	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—
9	木	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
17	金	県町村議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
21	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—
28	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—
29	水	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
30	木	県町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	金	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
		第3回議会定例会（8/31・9/4・5・6・19）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算審査特別委員会（9/6・7・10・11・12・13・14）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9	12	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	火	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—
		産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—
26	水	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○

議長交際費（議会活性化の一貫として公開）

区分	7月		8月		9月	
	金額（円）	内 容	金額（円）	内 容	金額（円）	内 容
会費	10,000	経済関連団体意見交換会 ほか1件	7,000	自衛隊夕涼み会 ほか1件	—	—
慶弔	—	—	15,000	町民ゴルフ大会 祝儀	6,000	ふじ・やまもと 幼稚園運動会祝儀
その他	5,616	視察研修 土産代	2,000	議員 見舞金	5,000	障害者友情列車 「ひまわり号」協賛金
合計	15,616		24,000		11,000	



すきです
やまもと

「Atoa和太鼓」(4名)と共に

創作和太鼓集団「風雲乱打舞」

2000年9月に設立し、会員数24名(性別・年齢制限無)。
イベントや式典など、多くの演奏依頼があり大忙しである。

代表者(伊藤 宏之氏)コメント

週2日、伝承館で練習しています。素人の集まりで、太鼓の達人ではありませんが、皆さんの応援のおかげで19年目を迎えることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

会員皆が太鼓を通じ、自主性や責任感、演じる楽しさ、喜んでもらえる嬉しさ、そして何より自分に自信を持つこと。それは自ら練習に参加し、ステージに立ち学んでいます。乱打舞に入って良かった、携わって良かったと思ってもらえるように、これからも頑張ります。

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

平成30年

第4回山元町議会定例会(予定)

傍聴してみませんか

会 期：12月7日(金)～14日(金)

開 会：午前10時

本会議：12月7日、11日、12日、14日

(一般質問は、11日、12日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会 を 検索

- ・会議録
- ・議決結果
- ・議員、委員会等名簿
- ・会期日程
- ・議会だより
- ・決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

酷暑からあつという
間に実りの秋です。

決算審査特別委員会
では、特に留意すべき
5項目(P11掲載)の
意見を付け認定しまし
た。特に、執行部は、
議会の意思を十分踏ま
えた事業を執行すべき
であり、議会は執行部
のチェック機能である
という自覚と責任を持
つべきです。町民、経済
関係団体、町、議会が
四輪駆動を駆使し一丸
となり前進していかね
ばなりません。
今後とも温かいご支
援・ご協力をお願いし
ます。

〈議会広報〉

広聴常任委員会

委員長 岩佐 秀一
副委員長 大和 晴美
委員 渡邊千恵美
委員 岩佐 孝子
委員 橋元 伸一

※今回の議会だよりは、一部あたり約41円です。